



C&C LIVING BOARD

身のまわりにあふれる、大小さまざまなもの。それらをごそっとまとめて詰め込んでおけるチェスト&キャビネット。

正面から見て、左半分が開き扉のキャビネット、右半分がチェストになっている。キャビネット部分には、雑誌や文庫本など大小の本やリングファイルを入れたり、日用品のストックをしのばせておいたり。テーブルウェアを並べて食器棚的に使用することもできるし、救急箱や、もったい無い気がしてなんとなく捨てられない好みのパッケージの箱やペーパーバッグの居場所にも。可動棚が2枚あるので、持ち物にあわせてカスタマイズ可能。

右半分の3段チェストは、それぞれ深さが異なる。上段が一番浅く、ステーションナリーやカトラリーをはじめ、充電器や乾電池、デジカメ、ハンコ、電卓、爪切り、工具、そのほかアクセサリーや各種ケース類、時計、眼鏡などなど、細々としたものを入れておくのにいい。使い道が制限されないよう仕切りは設けていないので、必要に応じてトレイを買い足すとより使い勝手が良くなる。中段は、背ラベルを上にしてDVDケースがおさまるくらいの深さ。サイズ的に上段に入らずあぶれてしまったものや、衣類なら下着やシャツなど薄手のものがたくさん入る。下段が一番深い設計。ブランケットやニットなどのかさばる衣類を詰め込んだり、意外と行き場がない?アイロンをしまったり、買い過ぎたトイレトペーパーの避難にも。一応、A4サイズまでなら本も収まってしまう。とにかくあらゆるサイズのものを入れておけるので、リビングダイニングはもちろん、ベッドルームでコスメやアクセサリー、衣類の収納中心で使うのも有りだ。

収納量を確保しながらも、全体高さは抑え、平均的なダイニングテーブル、ソファと同程度の高さに設定している。同じ空間に置かれる他の家具と高さが揃うと、空間に馴染みやすくなるからだ。天板の上は花や植物、オブジェを飾ったり、本を並べて本棚代わりにしてもいい。あとは、テーブルランプもおすすめしたい。絵になるし、昼と夜で違う雰囲気を演出してくれるから。

プッシュオープン仕様のため取手や手掛けが必要なく、前面にあらわれるのは扉同士のクリアランスのみ。徹底的にそぎ落とすことで、木目通しの表情、素材感をストレートに感じることができ、また、ほどよい緊張感も生まれる。枠同士の接合部は木口を見せない「留め」という接ぎ手が用いられ、天板から側板へ流れるように木目が繋がっている。

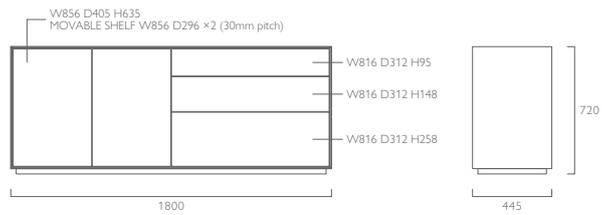
[仕様]ウォールナット突板(オイル仕上) [機能]可動棚:2枚/引出:3杯/スライドレール付 日本製



TYPE

PRICE

W1800
W1800
D445
H720



330,000

価格はすべて税込表記です。